

事業所名		児童発達支援事業所 wakka				支援プログラム		作成日		2025 年		3 月		28 日	
事業所理念		広々とした園庭・室内環境の中で、あそびや様々な経験を通し、生きる力を身につけます ご家庭との連携を大切に子どもの成長と一緒に見守ります													
支援方針		(1)発達に支援が必要な児童が日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適応することができるよう、児童の身体および精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行います。(2)事業の実施に当たっては、関係市町村ほかの指定障害福祉サービス事業者、その他の保健医療サービスおよび福祉サービスを提供する者との密接な連携を図り総合的なサービスの提供に努めます。													
営業時間			8 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無		なし				
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・健康状態の維持・改善 ・生活のリズムや生活習慣の形成 ・基本的生活スキルの獲得						・健康状態の維持や改善、基本的生活スキルの習得、生活リズム形成の支援方法を考えます。睡眠、食事、排泄を身につけられるよう、あそび・生活の中で環境に配慮し必要に応じて視覚支援を行います。時間の感覚や見通しを持った行動が出来るように支援を行います。							
	運動・感覚	・姿勢と運動・動作の向上 ・姿勢と運動・動作の補助手段の活用 ・保有する感覚の総合的な活用						・ピアノの音に合わせて身体を動かすリズムでは全身の神経を刺激し、感覚神経と運動神経の発達を促します。園内、園庭を薄着・裸足で過ごし、保有する視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚を十分に活用できるよう、あそびや生活を通して支援します。							
	認知・行動	・認知の発達と行動の習得 ・空間・時間、数等の概念形成の習得 ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得						・あそびの中で物の機能や属性、色、形、大小、数・時間の概念など知る機会を作ります。活動プログラムをわかりやすく示し、見通しを持って自発的に行動出来るようにします。視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用し、これらの感覚から情報が適切に取得され、認知機能の発達を促す支援を行います。							
	言語 コミュニケーション	・言語の形成と活用 ・言語の受容及び表出 ・コミュニケーションの基礎的能力の向上 ・コミュニケーション手段の選択と活用						・相手の意図を理解する力や自分の考えを伝える力を伸ばし言葉で表出する支援を行います。年齢に応じた関わりや活動を通して言葉遣いや所作を身に付け実践し、コミュニケーション能力の向上を促します。ジェスチャーや指差し、サイン等を用いて意志の伝達出来るよう支援します。							
	人間関係 社会性	・他者との関わり（人間関係）の形成 ・自己の理解と行動の調整 ・仲間づくりと集団への参加						・人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築けるよう支援します。遊び等を通じて園児や担当の動きを模倣し、社会性や対人関係の芽生えを支援します。集団に参加するための手順やルールを理解し、園児とのあそびや集団活動に参加できるよう支援します。							
家族支援		当事業所での支援活動の内容など口頭やアプリでその都度報告致します。保護者に来所いただき、支援場面の観察や参加等の機会を提供し、子どもの特性や特性を踏まえた子どもへの関わり方等に関して相談援助を行います。						移行支援		就学を見据えた将来的な移行に向けた準備を行います。保育所等の並行利用先や学校等での生活や支援の充実を図ります。					
地域支援・地域連携		他園、療育機関での状況をご本人や保護者に確認しながら、必要な支援をしています。また、必要に応じて相談事業所・学校機関等と連携会議・情報共有を行います。						職員の質の向上		入職した職員に対する療育知識の習熟を目的とした職員研修プログラムの実施、定期的な療育支援研修・事例検討会等の開催、各種委員会活動や研修・訓練の実施。					
主な行事等		親子遠足・なつまつり・うんどうかい・クリスマス会・もちつき・鏡開き・マラソン大会・豆まき集会・卒園式・修了式・避難訓練・誕生会など													